

III. 社会情勢の変化

1. Society5.0社会の実現に向けた動き

北海道が抱える様々な課題を、IoTやAI、ロボットなどの未来技術の活用によって解決し、活力にあふれる北海道を実現するため、2021年3月に「北海道Society5.0推進計画」が策定されました。社会資本の分野では、i-construction（アイ・コンストラクション）による施工の効率化や、スマートフォン等を活用した防災情報の高度化などの取組が進められています。

2. カーボンニュートラル社会の実現に向けた動き

地球温暖化は地球規模の深刻な問題であり、早期に解決すべき喫緊の課題です。気候変動問題の解決と世界に誇る北海道の創造に向けて、北海道が有する豊かな自然や地域資源を利用した再生可能エネルギーと広大な森林などの吸収源の最大限の活用により、脱炭素化と経済の活性化や持続可能な地域づくりを同時に進めるため、2021年3月に「北海道地球温暖化対策推進計画（第3次）」が策定されました。2050年までに、環境と経済・社会が調和しながら成長を続ける北の大地「ゼロカーボン北海道」を実現し、道民が健康で快適に過ごすことができ、真に豊かで誇りを持てる社会を、次の世代につなげていきます。

3. コロナ禍を踏まえた新たな生活様式の拡大

新型コロナウイルス感染症の拡大により、医療現場だけでなく、飲食店等の営業時間短縮など経済にも大きな影響を及ぼしました。

一方で、長期にわたる新型コロナへの対応により、人々の行動や価値観に変化が生じ、テレワークや宅配サービス等のリモートサービスの活用・定着が進み、働き方の見直しや地方移住を前向きに考えるという機運が高まってきています。

また、コロナ禍においても、大型車の交通量が減少することではなく、生活を支える物流インフラとしての道路ネットワークの重要性が再認識されています。

4. 観光振興と国際交流の拡大

2020年7月にウポポイ（民族共生象徴空間）が開設し、2021年7月には北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産に登録されるなど、近年、北海道の歴史・文化への注目が高まっています。また、2023年には、アドベンチャートラベル・ワールドサミット（ATWS）が北海道で開催される予定です。

国内外に北海道の魅力を発信することで、新型コロナウイルス感染症により減少した観光需要の回復を図り、地域の飛躍の契機となることが期待されています。